

令和6年度使用小学校用教科用図書の採択理由について

種目	発行者名	主な採択理由
国語	光村図書	<p>どの単元も児童の「問い」から学習が始まり、主体的・対話的で深い学びが行われるよう工夫されている。各単元のでびきの「見通しをもとう」では、「とらえる」「ふかめる」「まとめる」「ひろげる」という単元構成が示され、下段にその学び方や言語活動の具体例が明記されている。「ふりかえろう」で、振り返り方の視点を基に身に付けた学習内容を確認し、「いかそう」で、次の学びに活用することができるように工夫されている。</p> <p>「情報」としての小単元が年間に2か所、関連する単元の付近に設けられており、扱い方を学習できるようになっている。「本は友達」という小単元が設けられ、図書館の利用の仕方や、本の選び方などが紹介されている。</p> <p>QRコードは、作者のインタビューや、話すこと・聞くことの伝え合いの場面を動画で見ることができる。「季節の言葉」では、写真やイラストが使われ、学年の発達段階に応じて児童の身近にあるものが具体例として示され、言語感覚を養うよう工夫されている。</p>
書写	光村図書	<p>書写学習が始まる1年と毛筆学習が始まる3年に「スタートブック」を設け、書写の基本が学べるよう工夫されている。課題に対して考えるポイントを示したり、問いかけをしたりすることで、考えながら学習に取り組めるように工夫されている。書く時のイメージをもたせるために、基本点画の書き方や筆使いを、キャラクターの体の動きで示している。</p> <p>3年以上は、学習の「ねらい」「学習の進め方」「たいせつ」がセットで示され、学習の流れやポイントを明確に示している。毛筆の後に「生かそう」が設けられ、毛筆で学んだことを硬筆に生かし、関連付けて学習できる構成にしている。「書写広げたい」というページを各学年で設け、他教科でも活用できるよう工夫されている。</p> <p>QRコードは、動画・写真・アニメーション・資料で整理され、児童の発達段階に合わせて活用できるよう工夫されている。児童の書写への意識を高めるために、4年生には「SDGsブック」、6年生には「書写ブック」を特設ページとして設けている。</p>
社会	日本文教出版	<p>学年後半の資料を年間を通して活用したり、前半の学習内容を振り返ったりすることができるように、各学年1冊構成になっている。全ての単元が「学習問題の設定・学習計画づくり」「追究・解決」「まとめ」「発展」の学習過程になっており、調べたいこと・調べ方・まとめ方の例示があり、児童が見通しをもって学習が進められるように工夫されている。</p> <p>写真やグラフ等の資料に番号を付け、本文中の会話や説明で活用することで理解が深まるよう工夫がされている。</p> <p>QRコードが豊富で、画像や動画、外部リンク等、児童がICT機器を活用して情報を適切に選択し、調べることができるように工夫されている。</p> <p>SDGsと学習内容を関連付け、社会の問題を多角的に捉え、他教科とのつながりも意識できるように工夫されている。3学年の「市のようすとうつりかわり」では、川越市を教材として取り上げている。</p>
地図	帝国書院	<p>キャラクターが各ページで地図の見方や気付きを投げかけ、児童が知的好奇心を高めながら学習に取り組めるように工夫されている。地図活用の技能向上を図るために、地図を使い始める3年生には「地図のやくそく」があり、学年ごとの活用のためには「地図マスターへの道」がある。</p> <p>SDGsや自然災害など、今日的課題にも対応し、その学習に生かせるように情報が盛り込まれている。</p> <p>日本の地方地図は、2種類の縮尺の他に「広く見わたす地図」があり、発達段階や学習用途に応じて活用できるよう工夫がされている。また、調べ学習のためにも、大都市圏の地図、歴史、産業に特化した地図がある。</p> <p>デジタル端末に対応したQRコンテンツがあり、デジタル地図、ドローン映像、クイズ等が掲載されているほか、47都道府県のデジタル地図も利用でき児童が深く主体的に学べるよう工夫されている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
算 数	東京書籍	<p>問題解決的な学習を基本にして構成され、資質・能力がバランスよく育成されるような展開となっている。「同じように考えると」「それなら」など、既習の学習内容を生かすポイントを示すとともに、単元中盤以降は吹き出しや補助発問を減らし、自ら問題解決する機会が増えるよう構成されている。</p> <p>小学校6年間の学びの系統性が意識され、児童が数・図・式を主体的に用いて思考し協働的に学ぶことで、新しい学習内容を身に付けるよう配慮されている。また、学習のまとめでその時間に働かせた数学的な見方・考え方を可視化し、学びを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>Dマークなどの豊富なデジタルコンテンツが掲載され、単元導入から問題解決、学習状況の把握やつまずき対策など幅広く活用できるよう考慮されている。第6学年の最終単元では、以前の学びを想起し図解資料を参考に学び直す構成で、小中学校の円滑な接続が図られるよう工夫されている。</p>
理 科	大日本図書	<p>身近な題材への問いかけや読み物から学習が始まり、「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」では、学習内容と生活を関連付け、学びを実感できるように工夫されている。問題解決の学習過程を掲載し、学習の流れを意識できるように工夫されている。また、「結果」と「結果からいえること」が分けて記載され、友達と話し合いながら思考を深めていく場面と知識を定着させる場面を分けて扱うことができるよう工夫がされている。さらに、単元末の「たしかめよう」では学習事項を自ら確認できるよう工夫されている。実験ごとに「注意マーク」が記載され事故防止に配慮されている。</p> <p>どのような資料が見られるのか簡単な見出しがついたQRコードによる参考情報が活用でき、生物の愛護や生命を尊重する態度に関わる内容に「環境マーク」、SDGs に関する内容に「SDGs マーク」が付けられている。</p> <p>巻末には、既習事項や、理科室のきまり、器具の使い方等がまとめて記載されている。A4判の写真やイラストが豊富に使われている。</p>
生 活	東京書籍	<p>主に単元の導入時に知識・技能として学んでほしいことを「！」で、活動のめあてなどは「？」で、まとめや発展学習には「♥」の表示とともに、絵や吹き出しの文字で、学びの手掛かりになるように工夫されている。</p> <p>上巻巻頭の「がっこう せいかつ すたあと」では、スタートカリキュラムで行われる活動が写真やイラストで具体的に示されている。「保護者の皆様へ」のメッセージでは、生活科で学ぶめあてや内容が添えられている。</p> <p>下巻では、他教科との関わりや、発達段階に合わせてより具体的な表現方法を示すことで、自分の思いをくわしく伝えられるよう工夫されている。</p> <p>上巻末の「いきものずかん」では、生き物が本物同様の大きさで描かれており、比較したり観察場面を探したりしやすいように工夫されている。上下巻末の「かつどう べんり てちょう」では安全の注意喚起やテーマ毎に気付きを促す場面絵や協働的な学びの活動例を掲載している。QRコードから動画、クイズ、図鑑などを見ることができる。</p>
音 楽	教育芸術社	<p>題材のねらいに沿って、歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの教材が、多様なジャンルからバランスよく掲載されている。合唱では交互唱から合唱へと系統的に配置されている。歌唱共通教材は「こころのうた」として楽曲の背景が分かる写真や生活や社会との関わりに関する文が添えられている。</p> <p>巻頭には、年間の見通しと振り返りができるよう「学習マップ」が掲載されている。見開きのページ毎に、目標と活動内容が示されている。「見つける」「考える」「歌う、演奏する、つくる」のマークでは「どのように学ぶのか」を示し、主体的な活動を引き出すことができるように工夫されている。</p> <p>全学年で「共通事項」に示された音楽を形づくっている要素をどのページも同じ場所に示している。音楽に関わる用語は「がくふマスター」として新出ページと巻末に掲載され、確認をしながら学ぶことができる。</p> <p>QRコード（ムーブの部屋）からは、音源や資料、音楽づくりの専用アプリケーションが利用でき、主体的な学びができるよう工夫されている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
図画工作	日本文教出版	<p>「学習のめあて」は3観点を5項目に細分化し、育てたい力をより明確に示すように工夫されている。活動場面ごとに学習のめあて、表現のヒント、鑑賞のヒント、振り返りの4つが示され、それらを関連付けることで主体的・対話的で深い学びが展開できるよう配慮されている。また、学習意欲を高め好奇心を引き出すために、実際の授業で造形活動に取り組む情景の写真を豊富に掲載するような紙面構成となっている。</p> <p>デジタルコンテンツが豊富で、題材ごとのQRコードにより活動の中で児童が自分で確かめながら学習を進めるとともに、Webアプリを活用した表現や鑑賞に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>「つながる学び」マークを設定し、図画工作の学習と他教科や特別活動、SDGs等との関わりが示されている。また、「広がる図工」が取り扱われており、学習活動と生活や社会を関連付けた作品や取組が掲載されている。</p>
家庭	開隆堂	<p>題材は「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップで構成され、学習順序を示し、ステップごとの「学習のめあて」で見通しをもって学習できるように配慮されている。</p> <p>題材の見出しは「なぜ～だろう」など思考を促す文で、小題材では「やってみよう」など実践を促す言葉で、問題解決的な学習の工夫がされている。実習はチェックボックスで、技能の学習成果を確かめることができるよう工夫されている。</p> <p>QRコードからは、本文と同じ場面が設定され、画像を見ながら繰り返し学習できる資料が掲載されている。</p> <p>巻末に「実習に役立つワンポイント」で食材の切り方が実物大で掲載され違いが分かるように工夫されている。衛生・安全に関して「なぜそうするの？」と自分事として安全への注意を捉えられるよう記述されている。</p> <p>多様な視点を持ち、将来へ生かすことができるよう「キャリアインタビュー」を掲載している。「豆知識」で用語の解説や関連の事柄を示している。</p>
保健	Gakken	<p>学習の進め方が「ふり返る」→「例をあげて話し合う」→「学びを生かす」という流れになっており、児童が見通しをもちながら学習を進められるように工夫されている。学習後に自己評価を行ったり、学びを生活に生かすために自分にできることを考えさせたりする工夫がされている。</p> <p>健康安全についての理解を深め、自らが健康な生活を送れるための技能を身に付けられるよう、「防災」「心肺蘇生」「熱中症」等、今日的な健康課題を詳しく取り上げている。</p> <p>写真・データが豊富に掲載され、さらにQRコードで詳しい写真、資料等を活用でき、健康に関する関心をより高めることができるように工夫されている。また、学習の振り返りができるシートもデジタル化されている。</p> <p>中学校における学習内容が示され、健康における学習を系統的に行うことができるよう配慮されている。</p>
英語	開隆堂	<p>各単元のはじめに、「GOAL」として身に付けさせたい力が示されており、学習の見通しが立てられるようになっている。各単元は、導入で映像を見て新たな表現を聞き、「Let's Play」「Let's Listen」「Activity」で、外国語の音声や基本的な表現に十分慣れ親しみ、「Let's Listen and Read」「Let's Write」で読んだり書いたりする活動に結び付けるような工夫がされている。</p> <p>思考力、判断力、表現力等を高めるために、「Activity」が3つに分かれ、段階を追った活動を設定する構成の工夫がされている。また、「Around the World」では、単元のテーマについて海外の生活や文化を紹介し、異文化や自国の魅力を考えることができるように工夫されている。</p> <p>QRコードを読み取ると、音声や動画関連のページにアクセスでき、児童が必要な学習を進める工夫がされている。別冊「Word Book」では単語等がジャンル別にまとめられている。また、レッスン後の「CAN-DO チェック」や「Let's Check」で学習したことがどのくらい身に付いているかを確かめる工夫がされている。</p>

種目	発行者名	主な採択理由
道徳	Gakken	<p>児童が主体的に価値について考えられるよう教材冒頭は主題名ではなく、児童の興味や関心を高めるキーワードが記載されている。「いのち」「みんなで」「未来へ」を全学年で設定し、いじめなどの心の問題については、複数の教材を用いて幅広い視点から学習できるように工夫されている。低学年には物語教材、中・高学年には様々な人物の生き方から学ぶ教材など発達段階に応じた教材を取り上げている。</p> <p>「現代的な課題マーク」を各教材に示し、児童を取り巻く社会や環境に目を向けながら、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>巻末には学習を通して心に残った言葉や人に伝えたい言葉を書くことのできる「つなげよう広げよう」が設けられており、学びを振り返られるよう工夫されている。</p> <p>デジタルコンテンツが用意され、教材に関連したクイズ形式の動画などが見られるようになっている。</p>